

科目名	世界の経済(国際経済論)		担当者名	中野洋一(ナカノウイチ)	
開講年次	2	開講時期	後期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	C0040	該当DP	DP2,DP3	実務経験	
授業概要	最初に国際経済とは何かを簡単に説明し、復讐も兼ねて貿易理論の基礎、自由貿易と保護貿易、1930年代のブロック経済の失敗を説明する。次に、第二次世界大戦後の国際経済の出発点であるブレトンウッズ体制の成立と変遷、IMFと国際通貨体制の変遷を考察する。さらに、国際収支と外国為替の仕組み、GATTとWTOの成立と展開および問題点、FTAと地域経済の発展、欧州経済統合の進展を考察する。対外直接投資と多国籍企業の展開と問題点、ブラザ合意と日本経済、中国のWTO加盟と経済発展、アメリカの貿易赤字とグローバル・インバランス、最後にグローバル資本主義と2008年世界金融危機の発生を考察する。				
到達目標	1 国際経済の基礎的知識を身に着けるとともに、国際経済の制度や目的および問題点を理解し、説明できるようにすること。 2 今日のさまざまな国際経済の出来事に対しても、自分から積極的に調べ独自の批判的見地から分析できるようになること。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	国際経済とは 国境を越えるモノ、カネ、ヒト		授業後の復習(プリント)	20分
	2	ブレトンウッズ体制の成立と変遷		授業後の復習(プリント)	20分
	3	IMFと国際通貨体制の変遷		授業後の復習(プリント)	20分
	4	国際収支の仕組み		授業後の復習(プリント)	20分
	5	外国為替の仕組み		授業後の復習(プリント)	20分
	6	GATTの成立と展開および問題点		授業後の復習(プリント)	20分
	7	WTOの創設と展開		授業後の復習(プリント)	20分
	8	WTOの特徴と問題点		授業後の復習(プリント)	20分
	9	FTAと地域経済の発展		授業後の復習(プリント)	20分
	10	欧州経済統合の進展		授業後の復習(プリント)	20分
	11	対外直接投資と多国籍企業の展開		授業後の復習(プリント)	20分
	12	ブラザ合意と日本経済		授業後の復習(プリント)	20分
	13	中国のWTO加盟と経済発展		授業後の復習(プリント)	20分
	14	アメリカの貿易赤字とグローバル・インバランス		授業後の復習(プリント)	20分
	15	グローバル資本主義と2008年世界金融危機の発生		授業後の復習(プリント)	20分
教科書	特になし。授業では毎回プリントを配布する。				
参考書	浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸『はじめて学ぶ国際経済』有斐閣アルマ2011年。西川潤『新・世界経済入門』岩波新書2014年。				
成績評価	方法	割合	備考		
	授業でのレポート提出	100%	説明の内容および各自の意見等(結果フィードなし)		
履修上の注意	授業中の私語とスマホゲームの禁止。 授業の最後20分はその授業でのレポートを作成し、提出すること。 ※状況に応じて授業期間内に期末レポートやオンライン課題の提出で期末試験の代わりとする。				
オフィスアワー	出講時いつでも可		メールアドレス	nakano202@ori.bbiq.jp	